

# NEWS & TOPICS



紀州地域本部



## スイカ早食い競争

子どもの部、大人の部で開催され、熱戦が繰り広げられました!



## スイカスーパーボールすくい



# 7/11 スイカ祭り大盛況!!

7月11日、JAがいなポートにて、青年部 名田・塩屋班主催による「スイカ祭り」が開催されました。名田支店も協力し、地元農業の魅力を広く伝えることを目的に、地域の特産品である小玉スイカを使った様々な催しが企画されました。今回が初めての開催となりましたが、多くの方々にご来場いただき、子どもから大人まで大いに楽しんでいただくことができました。



## スイカ輪投げ

## 種飛ばし大会



他にも、スイカの重さ当て大会、スイカ試食、地元農産物の販売等を実施し大盛り上がりとなりました。



## フォトスポット



## ありだ地域との労働力交換を実施

紀州地域の青年部は繁忙期の労働力不足に対応するため、6年前から県内の他地域本部の青年部との労働力交換事業を実施しています。新型コロナウイルスの影響で規模の縮小や中止が続いていましたが、今年度より本格的に再開しました。

6月の梅の繁忙期に合わせありだ地域の青年部員7名が紀州地域を訪れ、梅の収穫や選果に協力していただきました。ミカンの繁忙期には紀州地域の青年部員がありだ地域へ出向き、収穫作業等を支援する予定となっています。受け入れた生産者からは「同じ農家としての気持ちを理解してくれるので一緒に作業しやすい」との声があがりました。また、JA担当者は「まだ試験的な取り組みで課題もありますが、今後も積極的にこの取り組みを拡大していきたいです」と話します。



## 管内の園地325件の土を診断!



## 土壌分析

7月3日と4日の2日間、肥料メーカーやJAの職員などが協力して土壌分析を行いました。分析を希望する生産者が持参した土のサンプルを、薬品や専用の機械を使い、成分や肥料の残存量について調べました。検査結果をもとに、各園地の施肥設計を行い、生産者の皆さまに土壌改良の指導・相談を行います。



## 6/25 令和6年度産 スターチス連絡協議会出荷反省会

紀州地域本部スターチス連絡協議会主催により開催され、市場8社、連絡協議会役員11人、JA関係者13人が出席しました。JA担当者からは令和6年度産の販売結果、次年度産販売対策や今年度の作付け予定（苗の発注状況や品種のバランス）、高温対策について報告がありました。また、市場関係者からは市場情勢の報告や産地への要望が寄せられ、連絡協議会役員からも次作に向けて注文単価や今後の販売情勢などに関して

質問や意見があるなど、活発な意見交換が行われました。



## 6/27 令和6年度産 にんにく出荷反省会

日高北部にんにく部会員18人、JA関係者4人が出席しました。JA担当者より販売状況、次年度に向けての課題などを報告しました。経費の高騰が出荷者の減少に繋がっていると考え、JAとしては、施肥設計の見直しを進めるなど経費の削減に努めていくと報告がありました。



## いなみシニア学園 JA職員が園芸クラブの講師に！

印南町社会福祉協議会が実施する「いなみシニア学園」の「園芸クラブ」にJAが令和7年度の講師として参加しています。6月の講義では土作りや農薬の正しい使い方について説明し、今後の取り組みについて話し合いました。1年を通し営農指導員を中心にJAらしい講義や体験を実施します。



## 7/11 令和6年度産 不知火反省会

不知火出荷者31人、JA関係者8人が出席しました。JA担当者より令和6年度産の販売経過、販売実績、次年度対策の報告があり、「今年は不作だったものの、高単価で販売できた」と説明がありました。大阪中央青果市場の担当者にもお越しいただき、市場情勢について報告していただき「もっと後期デコポンの出荷を増やしていただきたい」と要望がありました。また、生産者からは後期デコポンの貯蔵中の傷みなどについての意見があがり、原因や対策について情報交換を行いました。



## 食農教育支援



JAでは、地域の子どもの食農教育を支援しています。営農指導員をはじめJAの職員、青年部員、女性会員などが協力し、お手伝いしています。また、この活動は、JA共済地域貢献活動に係る助成金を活用しています。

### 6/17 田植え

ひまわりこども園 5歳児25人



JA職員と一緒に園庭で田植え体験をしました！手が泥だらけになりながら一生懸命植えました。秋の収穫が楽しみです！

### 6/18

### みなべの梅学習



岩代小学校では毎年、「みなべの梅学習」を実施し、地域の特産物である「梅」について、収穫から加工・製品化に至るまでの過程を体験しています。JAも職員がサポートするなど、地域の食と農に興味をもってもらえるようこの活動を支援しています。

### 6/25 印南町特産の小玉スイカを学習！

清流小学校



清流小学校では地域産業についての知識を深めるため、特産品の小玉スイカに関する学習を行っています。6月25日、3年生9人が参加し、収穫体験、試食を行いました。JA営農指導員からスイカの特徴や栽培方法について説明があり、児童たちは熱心に耳を傾けていました。

6月18日には全学年35人が梅拾いを行った後、グループで協力し、収穫した梅の塩漬けに挑戦しました。今後は漬けた梅の天日干し、塩抜き、しそ漬け、カップ詰め等も実施します。



はな や か いち  
**紀州花野果市《HIRO御坊店》**  
 からのお知らせ

**浦西自然農園  
平飼いたまご**

**随時販売中!**

平飼いたまごを使用した  
手づくりプリンも  
販売しています!!

平飼いで  
のびのび育てているので、  
ストレスがなくクセや  
嫌なにおいが  
ありません。

**Aコープかわべ産直部会  
詰め放題イベント開催!**

7月6日、Aコープかわべ店の創業祭に合わせて、産直部会による「新鮮野菜詰め放題」が開催され、多くのお客様で賑わいました。産直部会では、お盆や年末の2割引イベントをはじめ、さまざまな催しを実施し、店舗の活性化に努めています。



あなたの思い、咲かせよう

**JAマイカーローン**

変動金利 **1.30%~1.90%** (令和7年7月1日現在)

※別途保証料・実行手数料・出資金が必要となります。



©よりそう

**借入の特徴!!**

**新卒内定者の方も  
ご利用可能!!**

※入社6カ月前からお申込み可能!!

**借換も安心!!**

他行ローンだけでなく

**ディーラーローン  
残価設定型ローン  
のお借換えもOK!!**

**お使いみち**

- 自動車・バイク(中古車含む)の購入資金
- 運転免許の取得資金
- 車検・点検・修理費用
- カーナビ等カー用品の購入資金
- 100万円以内のカーポート設置資金 など

**24時間365日 インターネットから  
仮申込みいただけます!**



お問い合わせはお近くのJA窓口、または渉外担当者まで

**ローンセンター0800-200-7749** (フリーアクセス)

ローンセンターは4月より本店建替え工事に伴い、**湯川支店内2階**に移転し営業しています。移転後も日曜日にローン相談会【9時~16時】を実施しています。





**元肥（9月）**

9月は、翌年の貯蔵養分を蓄積するための重要な時期です。この時期に施用された肥料は主に根に取り込まれ、翌年の果実・葉・新梢・根の生育に活用されます。

※施肥量については、営農指導員までご相談ください。

**病害虫防除**

**◆ウメシロカイガラムシ（9月上旬～中旬）**

- ・アプロードフロアブル（100倍／7日前まで／2回）
- ・モベントフロアブル（200倍／7日前まで／3回）

※アプロードは残効性があるため、幼虫発生前でも効果が期待できません。

※農薬散布は、朝の涼しい時間帯に行ってください。

**◆クビアカツヤカミキリ**

成虫は5月下旬から8月にかけて発生し、ウメ・モモ・スモモ・サクランボなどのバラ科作物を加害します。収穫後も必ず園地を確認し、フラ

ス（虫の糞）・幼虫・成虫を見つけただけの場合は、営農指導員までご連絡ください。

**◆モモヒメヨコバイ**

収穫終了後から落葉時期まで発生し、葉を吸汁して黄化・早期落葉を引き起こします。これにより、秋の貯蔵養分が減少し、樹勢の低下や翌年の生育に悪影響を及ぼします。

**防除薬剤：**

- ・アクトラ顆粒水溶剤（200倍／7日前まで／2回）
- ・モスピラン顆粒水溶剤／200倍／前日まで／3回

**◆白紋病対策**

- ・枯死した樹の根は掘り上げて園外へ搬出してください。
- ・夏季には植床にビニールをかけ、太陽熱消毒を実施しましょう。
- ・苗木定植時には、フロンサイドSC（50倍）を1本あたり50～100L 灌注してください。

**自然災害・気象対策**

**◆強風・台風対策**

- ・防風樹や防風ネットを設置し、風の被害を軽減しましょう。
- ・幼木は倒れやすいため、支柱などでしっかりと固定してください。

**◆干ばつ対策**

梅は浅根性で、細根の約80%が地表20cm以内に分布しています。高温乾燥が続くと、細根が枯れて

樹勢が落ちる恐れがあります。以下の対策を行いましょう。

- ・敷き草や堆肥などで地表の水分蒸散を抑制
- ・乾燥前に早めの灌水（可能な園地では）

**果樹柑橘**



**●柑橘類の仕上げ摘果**

今年の温州みかんは品種により着果量にバラつきがあるため、粗摘果を控えるにした園では後期摘果・仕上げ摘果を主体に行ってください。

ゆら早生等の極早生では仕上げ摘果を行ってください。この時期になると果実の重みで垂れ下がってきますが垂れ下がっていかない果実はこの仕上げで摘果してください。

ただし上向き果実は新芽の発生を抑制するため収穫直前に摘果してください。早生・中生・晩生・中晩柑橘は

極端な小玉果や傷果・病害虫被害果の摘果を行ってください。

**●水管理**

味の良いみかんを作るには梅雨明けから盆すぎくらいまで適度な水分ストレスを与えることが重要です。

しかしながら極度な土壌乾燥は果実肥大の低下、小玉果、酸高につながりますので葉が巻き始めたら10mm程度の灌水を行ってください。特に幼木は樹の水分保有量が少ないため、こまめに灌水を行うようにしてください。

**●品質向上対策（早生・中生のマルチ被覆、フィガロン散布）**

早生・中生では8月末までにマルチ被覆を行ってください。なお、被覆前に土壌が極度に乾燥している場合は降雨後か灌水を行ってから被覆してください。また被覆後の過度な乾燥は樹勢低下や酸高を招くので葉水等を行ってください。

**フィガロンの熟期促進と使用方法（樹勢低下園は除く）**

品種	目的	使用時期	倍数	収穫前日数／使用回数
温州みかん	熟期促進	2回目満開 70～110日後（第1回目の散布から20日後）	3,000倍	14/2回

**●病害虫防除指針（柑橘類全般）**

防除時期	対象病害虫	薬剤	倍数	収穫前日数／使用回数
生育期	かいよう病	ムッシュボルドー DF	1,000倍	-/-
		加用クレフノン 又は マイコシールド	200倍 1,000倍	60/2（温州） 30/2（晩柑）

# 水稻



## カメムシの防除

近年、カメムシによる被害が多くなっていますので、カメムシの防除を徹底してください。カメムシの散布防除適期は乳熟初期が基本です。

※乳熟初期（出穂期7〜10日後）：  
圃場全体の穂が80〜90%出た時期

## ウンカの防除

ウンカが発生している圃場では、追加防除が必要となってくる場合があります。スタークル顆粒水溶剤（2000倍／収穫7日前／3回）または、スタークル豆つぶ（250〜500g／10a／収穫7日前／3回）を散布し防除に努めてください。

## 収穫前の水管理

コンバイン等の作業の都合上、早くから落水する圃場も見受けられます。早期落水や登熟期以降の水不足は粒張りが悪く、胴割れ米などの発生の原因となります。刈り取り予定の1週間〜10日前を目安に落水してください。

## 適期の刈り取り

収穫時期は米の品質に大きな影響を与えるので、収穫時期を逃さないようにしてください。1穂に緑色粉が10〜15%残っている状態が適期です。刈り遅れをしないためには、適期になってから刈り始めるのではな

く、天候や面積を考慮して早めに刈り取りを開始し、適期内に刈り取りが終わるようにすることが大切です。

## 収穫時期の目安

収穫適期は籾全体の80%から90%が黄化したころです。出穂期から約35日を目安としてください。にじのきらめきは35日から45日、きぬむすめは35日から40日と幅がありますが、今年は高温が予想されるため、品質低下を避けるために早期の刈り取りを行ってください。

※出穂期：水田全体の約40〜50%が出穂している状態のこと

# 野菜



## ミニトマト

### ●黄化葉巻病

黄化葉巻病の発生が問題になっています。

定植前に再度、ハウス周りの除草やハウス開口部に被覆している防虫ネットに破損している部分が無いか確認し張替えや修繕を実施してください。

コナジラミを「入れない」、「出さない」、「増やさない」を徹底してください。

また定植の際は、コナジラミ対策として薬剤を必ず施用してください。薬剤についてはマルハナバチ導入時期を考慮し選択してください。

### ●栽培管理

すでに定植がスタートしています。再度ミニトマト栽培の基本を確認し、1つ1つの作業を丁寧に行ない、高品質なミニトマトの安定生産を目指しましょう。

病害虫については、摘葉や予防的な薬剤散布などで予防対策を講じてください。

### ●水分管理

土壌水分や草勢を良く観察し多灌水にならないよう、植物に必要な量で灌水を実施してください。過多な灌水は、根張りを抑制しますので気を付けましょう。日中、高温により葉が萎れる場合には、葉水（散水）で対応してください。

### ●温度管理

遮熱、遮光ネットを上手に利用し、ハウス内温度を調節してください。ハウス内温度を下げる一つの方法として、夕方のハウス内への散水も効果的です。

### ●交配作業

初期の生育を安定させるため、1〜3花房目まではトマトトーンによる交配を実施してください。

高温時のトマトトーンは薄い倍数（150倍）で短い間隔でたっぷりとかけ、確実に結実させるよう努めてください。

## ナス

収穫終了時まで草勢が低下しないよう肥培管理に注意してください。また、乾燥には十分注意し定期的に灌水を行ってください。

病害虫については、アザミウマ類、ヨトウムシ類、うどんこ病等を中心に防除を行ってください。薬剤散布は早朝か、夕方の涼しい時間に行ってください。農薬については営農指導員にお尋ねください。

## ゴーヤ

草勢が低下するとうどんこ病の発生を助長します。草勢を低下させないために肥培管理、土壌水分の管理については十分に注意してください。病害虫については、ヨトウムシ類、うどんこ病を中心に防除を行ってください。薬剤散布は早朝か、夕方の涼しい時間に行ってください。農薬については営農指導員にお尋ねください。

## ブロッコリー

### ●播種

播種は、8月下旬ごろから行ってください。10aあたり60〜80㎡（約

3〜4袋、コート種子は粒数) 用意します。播種後は、寒冷紗等で直射日光が当たらないようにしてください。灌水量は本葉が出るまでは控えめにしてください。夕方の灌水は、病気、徒長苗の原因になるので注意してください。もし、夕方灌水する場合は表面が湿る程度にしてください。

生育が進むにつれて、苗を徒長させないように注意してください。(高温時以外は、被覆しないでください) 育苗中の害虫には注意し、適宜防除を行ってください。農薬については営農指導員にお尋ねください。

●根こぶ病対策

オラクル粉剤(全面土壌混和30g/10a)を施用してください。石灰窒素を施用する場合は、ガス障害が発生する危険性がありますので、圃場全体に均一に散布し、よく耕耘してください。さらにガス障害回避のため、石灰窒素施用後は10日以上空けて定植を行ってください。根こぶ病の多発している圃場では、連作を控えてください。

●欠乏症対策

毎年苦土欠乏症が発生し生育に影響が出ている場合には、硫酸マグネシウム(1袋/10a)を施用してください。「改良緑炎」が特に発生しやすいです。

過去に、ホウ素欠乏症が発生した圃地につきましては、FTEを10a当たり4kg施肥してください。

「おはよう」についてはホウ素欠乏症非常に発生しやすいので、必ずFTEを施用してください。

●湿害対策

ブロッコリーは湿きに弱いので湿害対策として、高畝にして排水は十分とってください。

圃場が他にあれば、排水の良い土壌に栽培してください。

豆類

○作付け準備

- ①圃場は出来るだけ深く耕運し、付けまで数回行ってください。
- ②また、耕運する場合は、圃場全体が適湿の状態で行いましょう。加湿の状態では行わないでください。
- ③畝は高畝にし、排水対策を行ってください。

○播種時期

・注意点

- ①植穴にたっぷり灌水した後、播種してください。
- ②高温時期の播種は、発芽不良が発生しやすいのでご注意ください。
- ③マルチの種類により地温に差が生じますので、立地条件や播種時期に合ったマルチを使用してください。

○降雨後の対策

抑制栽培の豆類は、降雨後に急激に温度が上がると、高温障害が発生しやすくなりますので薬剤防除を実施してください。

○薬剤防除

アブラムシ類・アザミウマ類の防除の為、播種時に薬剤防除を行ってください。

防除例：アドマイヤー1粒剤

- ・うすい、きめさや、未成熟をらまめ10a当たり3kg/1回/播溝土壌混和
- ・さやいんげん10a当たり6kgまで(1株当たり1〜2g)/植穴土壌混和

※特にアブラムシについてはウイルス病を媒介する恐れがある為、防除を徹底してください。

※また、ヨトウムシやアブラムシの発生が確認された場合は初期防除に努めてください。

にんにく

作付けは、9月下旬から10月上旬にかけて行ってください。株間は15cm程度で3条植えを基本としてください。覆土はりん片が見えない程度から3cmぐらいにしてください。厚すぎると発芽が遅れ不揃いとなる場合があるので注意してください。

また、植付時に土壌水分が多すぎると練り植えとなり発芽不良、初期成育不良の原因となりますので、排水対策もしておいてください。

作付け後に、乾燥しすぎると発芽不良の原因となるので、灌水し発芽を促すようにしてください。

花き類全般



花き全般の栽培初期管理は株張りに大きく影響しますのでご注意ください。近年夏の気温が高いこともあり、高温障害や病気による株枯れ、根張りが悪いなどの症状が見られます。定植後の灌水管理、防風ネットや遮光ネット対策、ハウス内の換気を十分に行うなど暑さ対策を行ってください。

●スターチス

近年、定植時の暑さにより、活着不良や根傷みなど初期成育が悪くなっています。ここ数年、発生が多くなっている赤葉や花落ちはこれらの初期の生育不良や根張り不足が原因の一つだと考えられます。根張りが悪いと、少しの環境変化でも、ストレスを感じる事となり、赤葉などの発生につながります。そのため、生育状況や気候に応じたハウスの遮光や灌水管理、品種に応じた芽の整理など適正な管理を行う事で初期生育や根張りを促がしてください。

病害虫は褐紋病や褐斑病、アブラムシ類、ダニ類、ヨトウムシ類などの発生に注意し初期防除に努めてください。

●カスミソウ

定植初期は水切れを起こさぬよう注意し、ピンチについては葉の肥大や節間伸長を目安に行いますが、品種によっては低節位でのピンチで芽数が取れにくい品種(アルタイル等)があるので注意してください。